

平成24年度事務事業評価シート (23年度実施事業分)

事業番号	10 09 01	中期総合計画主要施策番号	1-03	担当課	部・課	建設部 建築指導課
事業名	アスベスト飛散防止対策事業			内線	3631	
				E-mail	kenchiku@pref.nagano.lg.jp	
実施期間	H18 ~	根拠法令等	アスベスト飛散防止対策事業補助金交付要綱 長野県住生活基本計画			
実施方法	市町村に対する補助金					国庫・県単 国庫補助事業・県単独事業

  

事業の概要等	目的 (必要性)	吹付けアスベストの飛散による健康被害を防止するため、多数の者が利用する大規模(概ね500㎡以上)な民間建築物について、吹付けアスベストの早期除去を行う。				
	対象	民間建築物の共用部分に露出して施工されている吹付けアスベストの除去				
	目指すべき姿	民間建築物のアスベストの除去に補助することで、アスベストの飛散による健康被害を防止する。 (長野県住生活基本計画では、平成27年度までに大規模民間施設のアスベスト除去率を50%に引き上げるとしている。 平成22年度末25%目途)				
	事業内容	民間建築物の共用部分に露出して施工されている吹付けアスベストの除去に要する経費に対して補助する市町村に対して補助を行う。 補助率: [国] 1/3 [県] 1/6 [市町村] 1/6 [施行者] 1/3 ただし県費の補助対象経費は33千円 / ㎡を限度とし、補助金額は2,000千円を限度とする。				

  

事業コスト	区 分		単位	22年度	23年度	24年度(当初)	23年度事業費の主な内訳 ・補助金1,979千円
	最終予算額 (A)		千円	4,577	2,065	7,356	
	決 算 額 (B)		千円	3,077	1,979		
	B(H24はA)のうち一般財源		千円	3,077	1,979	7,356	
	概 算 人件費	従事する職員数	人	0.05	0.05	0.05	
	概算人件費 (C)		千円	416	413	413	
概算事業費 (B(H24はA) + C)		千円	3,493	2,392	7,769		

  

事業実績	成果指標・活動指標内容		単位	22年度	23年度	24年度(見込)	左記以外のH23年度実績  (効果指標算出式) 概算事業費 / 除去建物数
	吹付けアスベスト除去建物(累計)(活)		施設	4(66)	2(68)	5(73)	
	吹付けアスベスト除去件数 / 対象施設(活)		%	23.0	23.7	25.4	
	市町村の助成制度(除去)の創設数(累計)(成)		市町村	17	18	20	
	<効率指標(単位当たりコスト等)> 建物あたりのコスト		千円 / 施設	873	1,196	1,554	

  

事業の成果	事業の目標(H23)			事業成果・評価			評価区分
	・市町村と連携し、対象建築物所有者等に対して補助事業内容の周知を進め、吹付けアスベストの除去を着実に進める。			・H22年度実績(4件)は下回ったものの、H21年度実績と同じ2件へ補助を行った。 ・助成制度を創設している市町村が増加(17 18)し、アスベストの除去へ向けた環境整備が進んだ。			b 期待どおり

  

事業の課題	区 分		判 定 ・ 説 明				
	事業ニーズの変化	増加	横ばい	減少	判 定 の 説 明	・アスベストの調査対象品目の拡大(3品目の追加)に伴い、対処施設数が増加することが予想される。 ・引き続き健康被害に対する建築物所有者の認識を高めるための周知や助成制度の周知を市町村と連携して進める必要がある。 ・事業推進の前提条件である市町村の民間建築物への補助制度の創設を積極的に働きかける必要がある。	
	県の関与を見直す余地	余地なし	当面余地なし	余地あり			
	事業改善(有効性・効率性)の余地	余地なし	当面余地なし	余地あり			

  

総合分析等	総合分析 (今後の課題、取組方針等)	・社会的にはアスベスト除去が求められているものの、建物所有者にとっては多額の費用が必要なため、除去が進まない状況にある。 ・健康被害に対する建物所有者の認識を高めるための広報活動と助成制度の周知を、引き続き市町村と連携して進めるとともに、市町村の民間建築物に対するアスベスト除去に関する補助制度の創設を含めた事業の実施体制の確立に向けた取組みを進めていく必要がある。				
	特記事項					